

農林水産大臣賞

山田ふるさと村づくり実行委員会（兵庫県淡路市）



「コスモス祭り」の開催



女性部の活躍の場「ダイニングカフェさくら」

（概 要）

（１）むらづくりの動機・背景

山田地域は、淡路市の南西部に位置し、山に囲まれた棚田と小さなため池が多い農村地域である。山田地域は、台風の襲来の際に農地等への被害が発生や、山田川の氾濫により、近くの民家が浸水することもあった。このため、平成 12 年に町内会や農家を対象とした農事の改良及び発展を行う農会の役員が中心となって、全戸を対象としたアンケート調査を実施したうえで、ほ場整備の事業実施に向けた取組を進める方針を決定し、ほ場整備推進委員会を立ち上げて「変えよう山田 変わろうみんな」をスローガンにまちづくりを始めることとなった。

平成 13 年には、山田地域づくり部会と営農部会を立ち上げ、むらづくり全体についての計画づくりを始め、平成 16 年から地域活性化と共同意識醸成のため、町内会長を実行委員長に、町内会、老人会、土地改良区、ほ場整備推進委員会の営農部会・むらづくり部会等の役員を構成メンバーとした「山田ふるさと村づくり実行委員会」を結成するとともに、ほ場整備を開始した。

（２）むらづくりの内容

山田活性化センター及び水車小屋公園等の整備により、地域住民が集う施設及び憩いの場が提供され、地域住民が主体となった交流イベントなどが積極的に開催され、地域内に活気が出てきており、特に 10 月のコスモス祭りは、地域の各種団体が連携し、地域住民が一体となったイベントとして開催している。

また、平成 17 年に一集落一農場を目指した山田営農組合を設立、平成 22 年には法人化により「株式会社さくらの郷ファーム」を設立し、水稻を主としてたまねぎを栽培するなど、経営安定に向けた営農を展開しており、地域内の農地の集約により、生産規模の拡大及び耕作放棄地の解消が図られている。

山田活性センターが建設されてから、山田ふるさと村づくり実行委員会女性部がコスモス祭りにおける料理の提供のほかに、高齢者が集うサロンなどで昼食を提供しているとともに、平成 30 年からは毎月第 1 日曜日にカフェを開設し、地域住民の憩いの場を提供している。